

子宮内膜症って？

子宮内膜は子宮の内腔に面した場所に存在し、卵巣から分泌される女性ホルモンの作用を受け、受精卵の着床に備えて月経周期毎に変化しています。そのため妊娠が成立（受精卵が着床）すると子宮内膜は胎盤の一部となり、妊娠が成立しなければ子宮内膜は月経血と一緒に子宮の外へ排出されます。

このような子宮内膜が、子宮の筋層内や子宮の周囲、卵巣の中などで異常に増殖する病気を子宮内膜症と呼びます。出来た場所により子宮筋腫や卵巣癌と区別することが必要ですが、どこに出来ようと子宮内膜症は進行性で、月経時や性交時の強い疼痛が特徴です。治療は子宮内膜症が出来た子宮や卵巣を手術で取り除いたり、卵巣からの女性ホルモンの分泌を薬を使って止めることで行なわれます。

